

RV130およびRV130Wルータでのセッションタイムアウト設定の設定

目的

セッションタイムアウト機能を使用すると、管理者は特定のセッションをアイドル状態にしておく時間を設定できます。これにより、アイドル状態のセッションからログアウトすることで、ネットワークへの望ましくないアクセスが発生する可能性も制限されます。

セッションタイムアウト設定は、時間がかかる設定を行っている場合にも有効です。そのため、セッションタイムアウトをより長い時間に設定できます。これにより、セッションがタイムアウトになったために管理者が設定全体を再実行しなければならない状況を回避できます。

この記事の目的は、RV130およびRV130Wルータでセッションタイムアウトを設定する方法を説明することです。

該当するデバイス

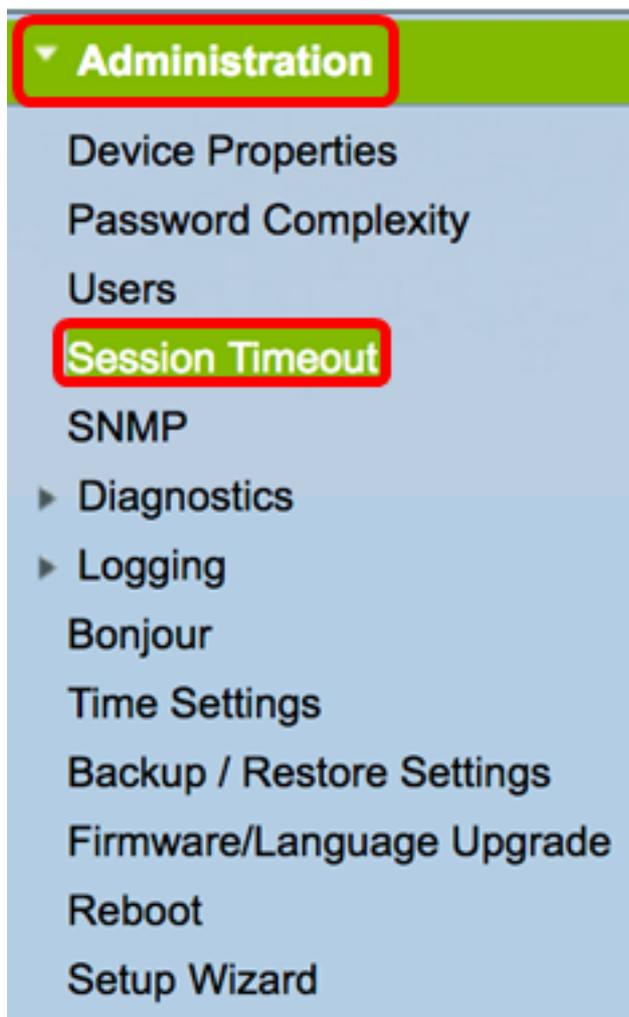
- RV130
- RV130W

[Software Version]

- 1.0.3.22

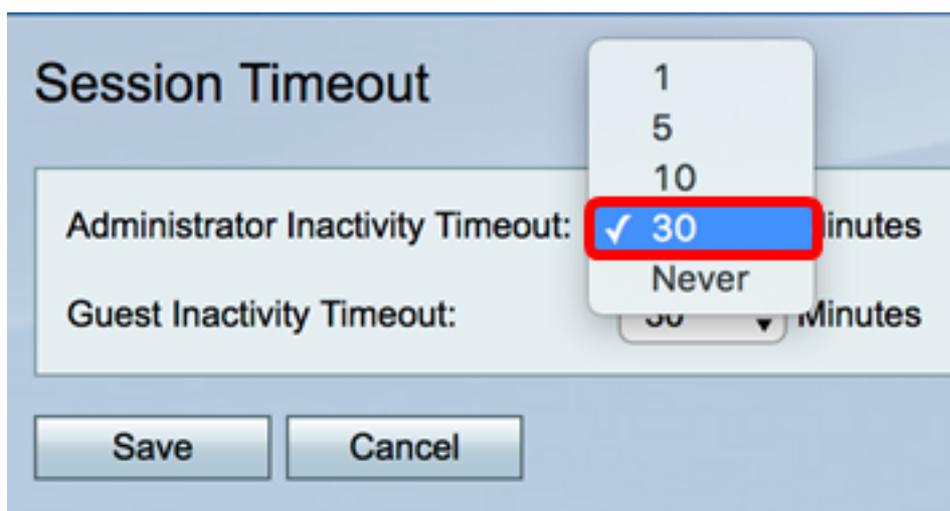
セッションタイムアウトの設定

ステップ1：ルータのWebベースユーティリティにログインし、**Administration > Session Timeout**の順に選択します。



ステップ2:[Administrator Inactivity Timeout]領域で、管理者権限を持つユーザが非アクティブになったためにログアウトする間隔(分)を選択します。オプションは、[1]、[5]、[10]、[30]、[Never]です。

注：この例では、30 が使用されます。



ステップ3:[Guest Inactivity Timeout]領域で、ゲスト権限を持つユーザが非アクティブ状態でログアウトする間隔(分)を選択します。オプションは、[1]、[5]、[10]、[30]、[Never]です。

注：この例では、30 が使用されます。

Session Timeout

Administrator Inactivity Timeout: _____ Minutes

Guest Inactivity Timeout: _____ Minutes

1
5
10
✓ 30
Never

Save Cancel

ステップ4:[Save] をクリックします。

Session Timeout

Administrator Inactivity Timeout: 30 Minutes

Guest Inactivity Timeout: 30 Minutes

Save Cancel

これで、RV130またはRV130Wルータのセッションタイムアウト設定が正常に設定されました。

Session Timeout

 Configuration settings have been saved successfully

Administrator Inactivity Timeout: 30 Minutes

Guest Inactivity Timeout: 30 Minutes

Save Cancel

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。